

## 追悼のことば

早いもので、平成28年7月26日の未明に津久井やまゆり園で起こった未曾有の事件から4年が経ちました。そして、犯人植松聖の裁判員裁判も1月から始まり、17回の公判を経て3月に結審しましたが、事件を悔い、深く反省して謝罪する姿を見ることはありませんでした。

この4年間、あの日の凄惨な光景と途方もない混乱、喧騒が脳裏を離れることはありません。

19名の尊い命が無残に奪われ、27名という多くの方が負傷しました。怖かったろうに、痛かったろうに。なすすべもなく命を奪われ傷つけられた方々の無念さを想うと、いつも心が掻き毟られます。

只々、“十九の御霊よ、安らかに”と、心よりご冥福をお祈りいたします。私達はあなた方のことを決して忘れません。そして、「この事件に決して屈しない。」という強い気持ちで前を向いて参ります。

そして、ご遺族の方々がこの間に味合われた耐え難い苦悩の日々を想う時、いまだにお声掛けする言葉は見つかりませんが、どうぞ心安らかな日々をと願うばかりです。

津久井やまゆり園の再生は関係者のご尽力で着々と進展しております。千木良には新しい建物の建設が始まり、芹が谷の仮囲い工事も始まりました。新型コロナと言う大変厄介な対応もありますが、両施設とも、来年中には入所ができるようにと皆で頑張っています。近隣の方々のご理解もボランティアさんの応援も前にもまして頂いております。

新しい施設の運営も、紆余曲折はありましたが社会福祉法人かながわ共同会が担って頂くことに落ち着き、ホッと胸をなでおろしているところです。

この一年は、園の再生が19名の尊い命に見守られながら一步一步進んでいることを一層強く感じました。これからも穏やかな微笑で見守ってください。

この1年間、黒岩知事をはじめとする県と県議会の方々の懸命なご尽力の賜物で私達の今日があるものと深く感謝を申し上げます。また、津久井やまゆり園や私達に各方面の多くの方々から賜りました励ましやご厚情に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

令和2年7月20日

津久井やまゆり園みどり会会長 大月和真